

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」重点目標(実績)

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年目標値	本年実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
臼杵市	③学校と家庭の課題	04 貧困家庭の児童生徒等に対する学習支援等	家庭の経済状況等により生ずる「学力格差」をなくし、児童生徒が一律に学力を向上させるため、学習支援の機会を提供する必要がある。	地域の有能な人材を活用して習熟度に応じた学習の場を提供し、中3生公民館教室の開催等、貧困家庭や障がいのある児童生徒も気兼ねなく参加できる環境づくりに取り組む。	学校と連携し、個々の生徒の特色(家庭環境、学習状況等)に応じたきめ細やかな指導ができるよう努める。	学校や地域との連携によるきめ細やかな学習支援を通して、児童生徒の学力が向上して、将来の目標選択が広がる。	アンケート調査による満足度	72	%	73	69	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 教室の開設以来11年が経過し、家庭・学校・地域に認知され好評になっている。指導者が固定することで、教室の問題に気づくことができ、改善につながっている。一方、年々入試制度や個々の進路希望が多岐にわたり、それぞれに応じた指導に苦慮している。